2021 東海村成人の集い

澄んだ青空が広がった1月9日、東海文化センターで、「2021東海村成人の集い」が開催され、新成人(式典参加者304人)の門出を祝いました。

例年とは全く違う「特別な式典」

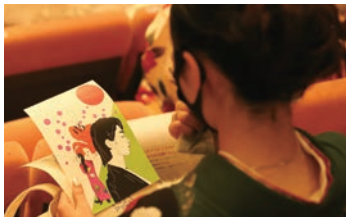
多くの自治体が開催を中止・延期する中、本村はコロナ禍であっても〝仲間や恩師と再会し、互いの成長を確認し合う機会を大切にしたい〟という思いから開催された成人の集い。

今年の成人の集いは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、マスクの着用や検温、「3密」を避ける対策等が徹底され、開催時間を短縮し、2部制での実施となりました。開催に当たっては、「2021成人の集いにおけるガイドライン」を作成し、年末年始および式典前後の時期に心掛けることとして、多くの人が集まる場所への移動や5人以上での会食など、感染リスクの高い「3密」となる行動を控えるよう、参加者へ順守徹底を呼び掛けました。

親族の入場を不可とし記念撮影も行わないという、例年とは全く異なるものとなりましたが、会場では、一生に一度しかない成人式が無事に開催されたことに安堵する様子や、級友との再会を喜び合う姿が見られました。

感謝の気持ちを胸に…

各実行委員長は、「例年よりも短い式典であり、成人を迎えたみんなの顔がマスクでよく見えないとしても、この式典の意味は何も変わらない」(岡部俊佑さん／東海中卒業／写真右下)、「成人の集いを無事に迎えられたことを心よりうれしく思っている。この成人式を機に、どんな大人になり、どう成長していかなければならないか、考えていきたい」(田谷典佳さん／東海南中卒業／写真上)と話してくれました。



生まれ育った
この東海村で
成長を
感じてほしい

力強く述べられた

新成人の誓い

こんな時代だからこそ、「情」や「心」を大切にしましょう

新型コロナウイルスは、生き方や働き方だけでなく人々の「心」も変化させてしまったと考えます。現在多忙な労働を強いられている医療関係者を疑いの目で見、新型コロナウイルスの感染者を差別する大人は数多くいます。「情」を大切にしましょう。このような時代だからこそ、他人を思いやる「心」を大切にしましょう。人間として正しい行いをしましょう。そして、東海村の一員として、この危機を乗り越え、将来に希望を持ち、成長し続けることを誓います。

（稲垣 賢明さん／東海中卒業）

新たな社会の担い手である自覚と責任を持ちましょう

今日まで私たちを支え励まし導いてくださった地域の皆さま方と先生方、そして毎日温かく見守ってくれた家族に、本日私たちが無事に成人式を迎えたことをご報告するとともに、感謝の気持ちをお伝え申し上げます。まだまだ未熟な私たちではありますが、これまでお世話になった全ての人に恩返しできるよう、それぞれの夢や目標に向かって努力していきます。私たち新成人は、新たな社会の担い手である自覚と責任を持ち、社会の一員として貢献していくことを誓います。

（安藤 沙雪さん／東海南中卒業）